

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
2	川 上 均	<p><b>1 生活が困難な町民に対する新たな支援策の取り組み</b></p> <p>異例の物価高や原材料費の高騰が、非課税世帯やひとり親世帯などに多大な影響を及ぼしている。今後もこの状況が秋冬から来年度以降も続くと言われている中で、町としてプレミアム商品券等の従来の施策から、今後はさらに拡充した施策が求められるが、限られた予算をどこにどのような形で活用していく予定なのか、町長の考えを伺う。</p> <p><b>2 民泊を活用した地域経済活性化の取り組み</b></p> <p>本町と、世界最大級の民泊サイト運営のAirbnb（エアビーアンドビー）Japanが6月29日に民泊を活用した地域経済活性化に関する包括連携協定を締結したことは町民も承知している。これにより町内の民泊開設・運営のサポートや、民泊を通じた関係人口構築などまちづくりを連携して行っていくとのことであるが、町民からは事業内容がよくわからないと聞く。</p> <p>そこで、締結に至る経緯と、その内容、締結することによって発生する手数料等の費用や予算、そして今後この事業をどう発展させていくのか、町長の考えを伺う。</p> <p><b>3 高齢者等の通院にかかる交通費の導入</b></p> <p>町内の医療機関で形成外科、脳神経外科など診療科目のない疾病で、やむを得ず町外の医療機関にかかる必要があるが、単独での移動が困難であり、単独では公共交通機関の利用ができない場合に、町としてタクシーを利用したその費用の一部を助成する制度の導入ができないか、町長の考えを伺う。</p>

質 議	問 者	質 問 事 項
席	氏 名	
5	鈴木孝寿	<p><b>1 体育館建設に伴う今後の方向性について</b></p> <p>清水町体育館は 2024 年の着工に向け、町民検討会議をはじめ様々な場面で議論がされていると思う。しかしながら経済状況も激変するなか建設費の高騰を含め、これまで各種団体の要望も現状においては妥協点が見出せず、平行線のまま多くの町民の納得が出来ない状況も予想できる。一度建設すると半世紀以上、大きな財産となる体育館において、今一度、まちづくりの観点からどのようなプロセスでどのような「カタチ」にするべきか、町長の考えを伺う。</p> <p><b>2 わかりやすい政策の説明について</b></p> <p>「ゼロカーボンとかち清水」、「清水町の SDGs」、「民泊推進」と様々な政策を打ち出しているが、具体的に何を目的としてどのように行うのか、そして町民は何をすべきなのかが伝わっていない。町全体として取り組む必要性があるのかどうかを含め、町長の考えを伺う。</p> <p><b>3 コロナ対応における福祉施設の支援について</b></p> <p>行動制限が緩和され、将来的に感染症の分類の 2 類から 5 類になることも議論が行われているコロナ感染症だが、福祉施設は高齢者等の健康のため、職員にはより一層の健康管理を要求されている。このことにより、人的な負担により、経営の圧迫にもつながりかねない。これまでに福祉施設への補助・助成が行われていたが、今後の対応について考え方を伺う。</p>